NO.6 2006. 10. 15

歴史ロマン古道ニュース

REKISHI KOKAIDODAN

【発行】歴史古街道団
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302
TEL/FAX 042-389-5534
宮田太郎（歴史古街道団 団長）
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/

今年も歩こう！万葉防人の道

昨年のさきもりまつり風景 2005/11/23

さきもりまつり2006

11 月 23 日(祝・木)

多摩よこやまの道で開催

「赤駒(あかごま)を山野(やまの)にはがし捕(と)りかにて多摩の横山徒歩(かし)ゆか遣(や)らむ」　万葉集（巻 20-4417）

この歌は、防人（さきもり）として筑紫（北九州）へ行く夫が乗るはずの赤馬が逃げてしまった、 夫はあの多摩の横山を歩いて越えるのか ―― と、見送る妻の嘆きを歌ったものとされています。この歌に詠まれた多摩の横山こそ多摩丘陵であり、尾根を越えて古代の官道や奥州古道が通っていたところです。姿が見えなくなれば、もう再び会えないかも知れない若い夫婦の別れに想いを馳せながら多摩の横山を歩き、1300 年前にタイムスリップして秋の一日を楽しもう…というロマン溢れる催しを、今年も多摩丘陵で開催します。

古代衣装(こだいいしょう)の防人(さきもり)や妻たちが登場

衣装・履物・小道具も手作りで

この祭りは、地域に残されている歴史的遺産を生かし借り物や物真似ではない、多摩地域でしか出来ない本物の市民まつりを創造しようと、昨年（2005）11 月、地域の行政や各種団体・機関に呼びかけて歴史古街道団（本部・多摩市、宮田太郎代表）が開催。周辺から 200 人をこえる市民が参加して大好評でした。

今年は「歩く」「学ぶ」「創造する」「歴史を楽しむ」をコンセプトに、事前に万葉歌や防人制度の歴史学習と検証ウォーキングを行い、“まつり”当日の 11 月 23 日（勤労感謝の日）は①府中市・大国魂神社発②聖蹟桜ヶ丘駅発③永山駅発の 3 コースで歩き、諏訪の「丘の上広場」で合流。この夏全線開通した紅葉の“よこやまの道”を古代衣装の大伴家持や防人・その妻たちと歩き、万葉防人見返りの峠での別離シーンを再現します。衣装・小道具も団員が時代考証しながら手作りします。（詳細は 2～3 面をご覧下さい）

№6

メモ　さきもり（防人）とは

白村江の戦（663）で唐・新羅の連合軍に大敗した大和政権は、国土防衛のため壱岐・対馬 2 島と筑紫（北九州）の海岸線に砦を設けて兵を置いた。

警護する者は辺境の岬を守る意味で、さきもり（崎守または防人）と呼ばれ、当初は主に東国の人々（常陸・上野・下野・上総・下総・信濃・武蔵・相模・甲斐・駿河等）から徴兵された。

原則単身赴任で任期は 3 年。各国府から役人（防人部領使＝さきもりのことりづかい） に引率され野宿しながら徒歩で難波津（大阪港）へ、あとは船で北九州へ送られた。現地では畑を耕し自給自足する制度。実際には唐の侵攻もなかったため現地で妻帯した者、帰国旅費がなく土着した者・帰路途中で亡くなった者も少なくなかった。

全区間を東西２回に分けて さきもりの道をたどる

歩く

東京文化財ウィーク2006

多摩市教育委員会主催･歴史古街道団協力

よこやまの道全線開通特別ウォーキング

今年7月20日、着工から５年の歳月を経て計画区間 9.5 キロ全線が開通した「多摩よこやまの道」の完成を祝い東京文化財ウィーク2006事業として「開通特別ウォーキング」を開催します。文化財ウィークは文化財保護強調週間（11月１日～7日）を中心に東京都主催･文化庁後援で毎年行われている事業で、地域の重要文化財や遺跡発掘品等を情報公開し、国民の文化財保護意識を高めるのが目的。今年は多摩市教育委員会主催･歴史古街道団協力で「多摩よこやまの道」を２回に分けて歩きます。

◆参加申込＝定員50人･先着順　多摩市教育委員会･生涯学習振興課文化財係＝☎042-375-8111（内 3216）、参加費無料、行程各回5キロ程度･小雨決行･弁当･雨具･飲み物持参

◆第１回：防人が越えた峠と古代東海道

☆10月14日（土）9：30　永山駅小田急改札前集合　多摩よこやまの道の東半分を歩きます。奈良時代の国道推定ルートと万葉防人見返りの峠、分倍河原合戦前夜に鎌倉幕府軍 20 万騎が野営したという永山の尾根、今も往時の姿を留める鎌倉古道入り口等を検証し、一本杉公園で解散します。

◆第２回：奈良・平安時代の奥州古道と巡礼伝説

☆10月28日（土）9：30　多摩センター駅小田急西口改札前集合　多摩よこやまの道の西半分を一本杉公園から歩きます。弓なりに西へ伸びるこの道は、各所で南北に走る古街道と交差しています。今回は公園内に残る江戸時代の大山街道跡、鎌倉裏街道跡、奈良平安時代に都から東北に向かった古街道で巡礼が往来した奥州古道、鎌倉時代の合戦伝説や塚の残るゴルフ場付近を歩き、別所長池で解散する予定。

万葉防人見返り（まんようさきもりみかえり）

万葉防人（さきもり）の歌と歴史を学ぶ

学ぶ

万葉集の中に収録された 98 首にのぼる「防人の歌」は、郷土を愛し家族を愛し、平和を願いながら遠く北九州に単身赴任した防人たちの真情の叫びが歌われています。このうち武蔵の国出身の防人や妻達の歌からその心を想い、また当時の政治的背景や風俗習慣など歴史を学習します。

◆テ-マ…「真情の叫び～万葉防人の歌と筑紫への道」

◆と　き…11月5日（日）13：30～16：00

◆ところ…多摩市関戸公民館･第3会議室

◆講演内容

①「万葉集と防人の歌Ⅱ」

☆講師＝今野耕作･埼玉大学特任教授（団顧問）

防人として筑紫へ赴く男達が妻や家族を想い、見送る妻達が夫の身を案じ嘆いた、真情溢れる万葉歌の解説など。

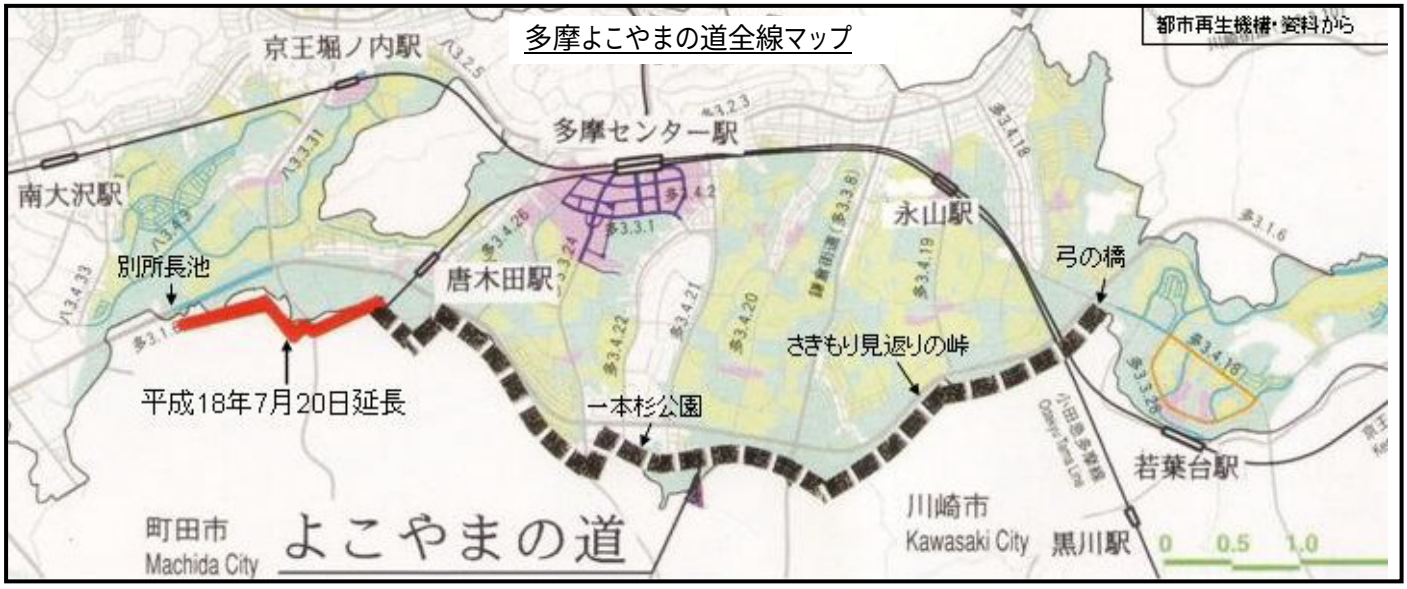
②「防人も歩んだ古代東海道、北九州での防人の足跡」

☆講師＝宮田太郎･歴史古街道団団長（古街道研究家）

防人制度の意味と背景、多摩を貫く国道･古代東海道、対馬･壱岐･北九州に残る東国防人の足跡

◆参加費…当日受付･団員500円、一般700円。

多摩よこやまの道全線マップ



の峠（とうげ）ウォーキング

さきもりまつり 2006

１１/２３(祝・木) 小雨決行

府中･聖蹟桜ヶ丘･永山から合流

楽しむ

「さきもりまつり2006」のメインイベント。大国魂神社･聖蹟桜ヶ丘駅･永山駅の集合場所から出発した一行は多摩丘陵を目指してウォーキング。多摩よこやまの道の起点･「弓の橋」脇のメイン会場(丘の上広場)で合流。昼食時間を利用して飛鳥奈良時代の雰囲気で万葉歌の朗詠、等が行われます。昼食後、抽選会や、防人と妻･大伴家持と女官が登場し、参加者と共にパノラマ台(万葉防人見返りの峠)まで歩き、秋の夕陽が紅葉に映える中で防人と妻の別れのシーンを再現します。

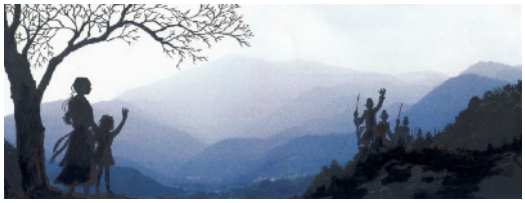
◆ウォーキングコース（３コース）

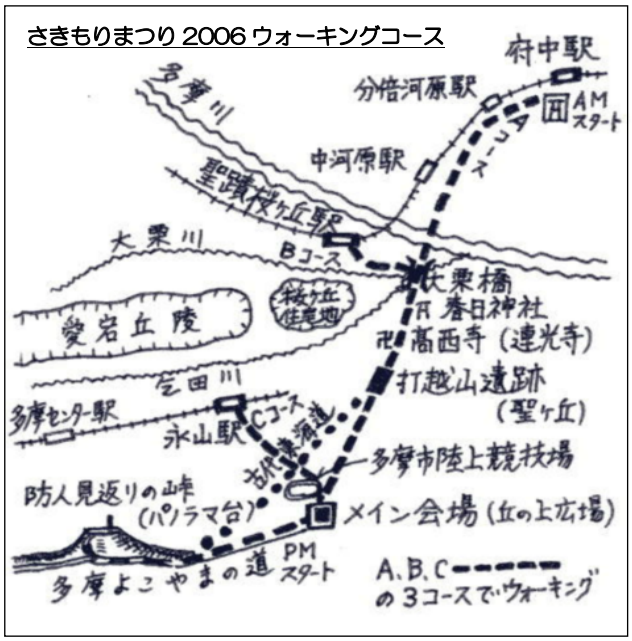
Ａロングコース (約6キロ) 8：30　府中市･大国魂神社正面大鳥居前集合　大国魂神社～分倍河原の古道～中河原の古道～多摩川～大栗橋～連光寺大坂～高西寺前～打越山遺跡～馬引沢～諏訪境～メイン会場

Ｂミドルコース (約3キロ) 9：30　京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前(タクシー乗り場側)集合　聖蹟桜ヶ丘～大栗橋でＡコースと合流してメイン会場へ

Ｃショートコース (約2キロ) 10：30　永山駅小田急改札前集合　駅前から推定古代東海道があったと思われる諏訪団地内遊歩道を通り、メイン会場へ

◆参加費…現地受付･大人500円、中学生以下100円。
(参加者に記念バッチを差し上げます)





創る

手作りの歴史まつりへ

この防人まつりは、他所からの借り物や物真似でない、地域の歴史資源を生かした“多摩ならでは”の祭りを創造するのが目的。当時の衣装の見本がないため企画段階から市民会議を進め、資料を集め時代考証しながら、防人や妻の帽子･履物を含めた衣装･大道具小道具まで全て手作りで準備を進めています。

東京多摩から日本唯一の「防人まつり」を発信し、将来は防人を派遣した東国10国の地域や市民はもとより、防人が赴任した北部九州･壱岐･対馬の人達ともネットワークを繋ぎ、「防人サミット」や「日本全国防人まつり」を開催したい…と夢を広げています。

【さきもりまつり準備会･今後の予定】

◆10月25日(水) 13：30～16：30
多摩市永山公民館･創作室

◆11月21日(火) 13：00
多摩市関戸公民館･第1学習室

◆11月22日(水) 13：00　多摩市関戸公民館･第2学習室

メモ

防人（さきもり）に関する木簡（もっかん）が出土　＜中原（なかばる）遺跡＞　佐賀県唐津市

2005年、佐賀県唐津市中原(なかばる)遺跡の発掘で防人についての木簡が初めて見つかった。この遺跡は唐津湾に面した古代役所に関係する遺跡で、周辺に壱岐に渡航する港があったらしい。発掘で多くの建物跡と墳墓・木簡・墨書土器等が発見されたが、19点出土した木簡の１枚（８号木簡）には、甲斐国（山梨県）出身の兵士に食料を支給したことが書かれていた。防人の赴任地での記録が出たのは初めて。

木簡に見える「戍（じゅ）」とは武器を取って守るという意味。防人は当時「戍人」（じゅじん）と呼ばれていたのだろうか？また小長谷部（おはつせべ）・日下部公（くさかべのきみ）・物部（もののべ）は人名で、甲斐国の有力氏族であったと考えられる。

木簡は延暦８年（789）の年号や土器類から８世紀後半の物と思われるが、実際に唐・新羅の侵攻はなかったため、後に東国からの動員はなくなり、８世紀後半には九州周辺の人を集め再編成しているので木簡に名のある人達は故郷に帰らず土着した防人達だと考えられている。

(文化庁編･発掘された日本列島 2006
「新発見考古速報･中原遺跡」)

相模国の鎌倉古道から

１２月から来年３月までのウォーキング

ヤマトタケルの道？

古街道･探索ウォーキング

■１２月５日（火）

「厚木･船子の地頭山古墳と
小金塚古道を歩く」

【内容】古墳時代にヤマトタケルが歩いた厚木の古道は、奥まで入り込んでいた相模湾の淵を通るように見晴らしの良い丘に残されています。

船着場であったのか船子の地名は地頭山や小金塚の古墳群と古代東海道の深い関係を教えてくれます。多摩から続く防人の道の古代ロマンです。

【コース】小田急線本厚木駅北口改札口前10：00集合～路線バスで船子～地頭山古墳～古代東海道と大山街道～小金塚古墳～八幡神社～本盛寺～昼食（国道２４６沿いファミレスで自由）～愛甲三郎の館跡～㈱アマダ前古道～高森６丁目のすみだ公園～塚堀公園～長龍寺～小金塚古墳～路線バスで小田急線愛甲石田駅（約５キロ）15:50 解散予定

古街道･探索ウォーキング

■１月１８日（木）

「新百合ヶ丘の弘法松　鎌倉古道と古代役所跡の謎を歩く」

【内容】新百合ヶ丘には府中や稲城の百村から続く大規模な鎌倉古道跡がありました。高台の銘木･弘法松跡からの大展望を経て幻の白山神社跡へ。古代の倉庫群が発見された小田急線沿いの丘、家康の御鷹狩場だった？日光台や茶臼山、柿生駅裏手の鎌倉古道と新田義貞伝説地などを探ります。

【コース】小田急線新百合ヶ丘駅北口側ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾗｲﾄﾞﾁｷﾝ(KFC)前10：00集合～こやのさ坂～茶屋跡～弘法松～ファミレスほかで自由昼食～山口谷戸の白山神社跡～百四里～上ノ台遺跡（古代倉庫群跡）～日光台～茶臼山～柿生トンネル跡～浄慶寺裏古道～秋葉神社～浄慶寺～小田急線「柿生駅」(約５キロ)15:30 解散予定

古街道･探索ウォーキング

■１月２８日（日）

「鶴見川沿いの上麻生亀井城と
早野の里の鎌倉古道を歩く」

【内容】川崎市麻生区の亀井城は源義経と共に北国落ちした鈴木･亀井兄弟の所領地だったという伝説が鶴見川流域に数多く残されています。南に続く早野の里は鎌倉街道早ノ道の名の由来になったという説があり、新田義貞鎌倉攻めに追従した遊女･小金松の伝説地などを探っていきます。

【コース】小田急線柿生駅南口改札前10：00集合～柿生の鎌倉道～亀井城～月読神社～ファミレスで自由昼食～鶴見川恩廻橋～県境の小金松伝説地～緑ゴルフコース～寺家ふるさと村散策～路線バスで小田急線柿生駅(約５キロ）15:30 解散予定

古街道･探索ウォーキング

■２月１５日（木）

「町田･七国山と
薬師池の鎌倉古道を探る」

【内容】鎌倉街道上ノ道や古代東海道･店屋路が通っていたと考えられる七国山は今も昔の風景を留める貴重な地域。美しい緑地公園で知られる薬師池の薬師堂の歴史とえびね苑を通る鎌倉道、今井谷戸を通る鎌倉道の真実を追跡します。

【コース】小田急線町田駅･町田バスセンター脇の西友1Ｆ入口前に10：00集合～路線バスで本町田市立博物館前～博物館と本町田遺跡～ひなた村と鎌倉街道上ノ道～今井谷戸～味の民芸（昼食）またはコンビニ有り～えびね苑の鎌倉道～薬師池公園と薬師堂～七国山の鎌倉古道～野津田車庫～路線バスで町田や鶴川、乗り継ぎで多摩センター、永山、聖蹟桜ヶ丘へ(約５キロ）15:30 解散予定

みやた太郎の歴史語り

■１２／１９(火) 14：00開場

【学　習　会】

飛鳥キトラ古墳と
多摩の深い関係の謎

＊ ＊ ＊ ＊

古街道の遊び人～月夜に
浮かぶ多摩古道・悠久の山海へ
あなたを乗せた船はゆく～”

緩やかな音楽に乗せて感性の古道歩きが始まる！――今年１年を総括する多摩丘陵と古道へ熱き思い、そしてすべての古道を愛する人々へのいざないの時間です。ゆっくりとした時間の中で眼を閉じて右脳の奥に眠る壮大な人類の記憶の旅にでましょう。

古街道の遊び人（あそびびと）が行く

■会場＝関戸公民館第1学習室
■時間＝14：30～17：00（当日受付）
■会費＝団員500円　一般1000円

忘年会 12/19 行事終了後

■時間＝18：00～20：00 を予定
■会費＝3,500～4,000 円
■定員＝35 名（申込〆切 12/5）
■会場＝未定（聖蹟桜ヶ丘駅付近）
■申込＝各イベント開催時に申込受付。または、事務局･宮田宛に氏名・電話番号・**忘年会参加と**明記の上 FAX。
☆FAX＝042-389-5534

梶原谷へ

案内：宮田太郎団長

古街道・探索ウォーキング

■２月２４日（土）

「海老名の国分寺と幻の国府
　＆渋谷重国伝説を探る」

【内容】海老名には国分寺はあっても国府跡がまだ発見されていません。高台の前方後円墳や尾根の古道、渋谷一族ゆかりの館跡伝説地などを探ります。

【コース】小田急線「海老名駅」改札口前10：00集合～相模国分寺跡～郷土資料館～ジョナサンで自由昼食～伊勢山神宮と自然公園～ひさご塚～渋谷重国館跡（長泉寺）～歴史公園～鳳勝寺と八坂神社～海老名駅（約５キロ）15:50 解散予定

【写真】海老名国分寺跡

古街道・探索ウォーキング

■３月１７日（土）

「横浜山手の丘の歴史散歩」

【内容】横浜開港時代にはフランス軍とイギリス軍が張り合うように駐屯した山手の丘は、外国の大使館や居住区が広がっていました。江戸末期に初めてピアノの調べが風に乗って流れ、外国の聞きなれない歌が聴こえてきたことでしょう。知られざる山手の歴史を探っていきます。

【コース】横浜みなとみらい線「元町・中華街駅」改札前10：00集合

元町～クリーニング発祥の地～外人墓地と資料展示室～山手聖公会～山手資料館～昼食（レストラン昼食ほか、弁当組は元町公園で自由）～イギリス館～港の見える丘公園～フランス山ほか～元町～元町中華街駅（約４キロ）15:30 解散予定

古街道・探索ウォーキング

■３月３１日（土）

「鎌倉梶原谷の
鎌倉街道武蔵大路を探る」

【内容】鍛冶工人の棟梁であった可能性もある梶原氏ゆかりの梶原谷は正宗刀を鍛えた相州鍛冶の拠点だったのでしょうか。梶原景時の母の故郷は元八王子であり、双方が鎌倉街道でつながっていたことや、武蔵大路といわれた鎌倉街道の幹線道路が化粧坂につながる様子を検証していきます。

【コース】湘南モノレール大船駅改札口前10：00集合～湘南モノレールで湘南深沢駅下車～等覚寺～大慶寺～東光寺～御霊神社～デニーズで自由昼食～梶原口の砦跡～化粧坂～葛原岡神社（梶原社）～大堀切～浄智寺～北鎌倉駅（約６キロ）15:50 解散予定

日帰りバスツアー

伊豆湯河原の
歴史ロマン散歩

■１２月１日(金)

【内容】初冬の湯河原路はほんわり暖か、今年の疲れを癒しましょう。源頼朝や土肥実平ゆかりの史跡や古道散歩のあとは日帰り温泉を楽しみます。

【コース】集合①聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前7：45発（貸し切りバス乗車）～集合②永山駅小田急改札口前8：00～真鶴半島～昼食～湯河原の史跡などを散策～湯河原温泉入浴（入らない方は自由散策）～永山駅～聖蹟桜ヶ丘 18:30 到着予定

【定　員】28名（先着順）

【参加費】5,500円（当日徴収　昼食・入浴料は別途個人負担）

【申　込】事務局宮田宛
FAX またはメールで。
FAX＝042-389-5534
メール＝kokaido@r3.dion.ne.jp
（参加行事名・氏名・電話番号のみ入力）

共通参加事項

◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。ウォーキング日は朝７時半までに実施か否かを本部事務局（ＴＥＬ042-389-5534）までお問い合わせ下さい。（それ以降は宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで）

◆参加費＝共通事項参照とある場合は団員 700 円（ご夫婦は二人で 1,000 円）一般は一人 1,000 円。

◆その他＝雨具持参（晴れでも携帯下さい）飲み物持参　昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内をご覧下さい。

■１月７日（日）

「勝五郎再生を辿る」

☆講師＝中丸三次（調査研究部）

【内容】中野村谷津入（八王子市東中野）の百姓小谷田源蔵の次男勝五郎は、八歳のとき「白分の前世は、程久保で生まれ父は九兵衛、名は藤蔵といったが六歳のとき疱瘡で死に三年後にこの家に生まれ変わった」と言う。祖母と程久保村を訪れると、藤蔵は確かに六歳のとき疱瘡でなくなっていた。この話は、平田篤胤の『勝五郎再生記聞』小泉八雲の「勝五郎転生」に書かれ、さらに『仏の畑の落ち穂』としてボストンとロンドンで出版された随筆集にも収録されている。

２００７年1月の
史跡探索
ミニ・ウォーキング

因州若桜藩の藩主であった松平定常（池田冠山）もこの話を聞き、中野村に尋ね「再生前世話」と記録に止めている。池田冠山の大名駕籠での中野村行きと時の地頭に江戸屋敷に呼び出された勝五郎親子の辿った道を検証してみよう。

【コース】京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前に10：00集合～松連寺道～百草園付近の古道～百草園（昼食）～生家～中央大学～谷津入～中央大学南交差点付近の野猿街道沿いのバス停で 15:00 頃解散予定（行程約５キロ）

【その他】弁当・雨具（寒さ対策）持参

【参加費】団員500円　一般700円（入場料・別途必要）

＊申込不要・集合場所で受付

MEMBER'S SALON

イベント参加者の声をお届けします。
皆様のご投稿待ってます！

2006.8.5（土）（参加者29名）
於：ピアノカフェ"CHOPIN"

大人の夏休み IN ピアノカフェ

城山町　田中次雄

真夏のウオーキングは避けてクーラーの効いた素敵なカフェで楽しく一日を過ごしましょう…と企画されたこの日、８月５日（土）は想定どおり真夏の太陽がギラギラと照りつけていました。今日はウオーキングでは無いからと皆さんオシャレな出で立ちで参加したのですが、しかし、団長はそれほど甘くありませんでした。南野高校前バス停から一本杉公園～鎌倉裏街道を経て目的地へ…１時間足らずの道程でしたが、この炎天下では立派なウオーキング、目的地「ＣＨＯＰＩＮ」に着く頃にはもう全員汗びっしょりでした。

「ＣＨＯＰＩＮ」は赤い壁の洋風のオシャレな建物、その中は大きめの家庭の居間という雰囲気で、重厚な木工家具やアートに囲まれた素敵な空間がありました。それぞれ床やソファーにと思い思いのスタイルに席を占めました。早速冷たいビールで一心地をつけたところで、オーナの岡さんが心を込めて点ててくれたマリアージュフレールの紅茶、これが実にうまかった。与えられたスペースの都合で薀蓄を語れないのは本当に残念です。甘いパリの香りに包まれる中、バックグラウンドに「ＣＨＯＰＩＮ」専属のピアニスト井上ユリノさんが奏でるピアノの生演奏が流れ、本当に至福の時が過ぎていくようでした。

【写真】熱演の田中さん

圧巻は当家マネージャーで回文作家かつ古街道団員でもある小宮さんと宮田団長による回文作品の発表でした。紙芝居風に工夫がこらされ、その上、井上さんのピアノ伴奏付で宮田団長が演じる名（迷）演技に参加者全員抱腹絶倒の連続・・・。名演技の傍には道化が必要。その道化役を筆者が引き受けてへたくそなクラリネットの余興も飛び出しました。最後に締めてくださったのが、飛入り参加のタイのアドウン・カナンシンさん。日本で教職の傍ら音楽活動をされているとか…、すばらしい歌声を聞かせてくださいました。タイの愛の歌を聴きつつ、音楽に国境がないことをあらためて思いました。とにかくびっくり箱をひっくりかえしたように次々とハプニングと出会いの中、瞬く間にに楽しいひとときが過ぎていきました。次回、忘年会の季節にふたたび「大人の冬休み」を行うことを約束してお開きとなりました。

北九州での防人の足あと

斉明天皇6年(660)、唐・新羅の連合軍により百済が攻め滅ぼされたとき、百済の遺臣は日本に救援を要請してきた。これを受け、斉明天皇と中大兄皇子(のちの天智天皇)は征西し、天皇は朝倉宮（朝倉橘広庭宮、現福岡県朝倉市）で亡くなるが日本軍は渡海した。しかし、天智天皇2年(663)、朝鮮半島の白村江で唐・新羅連合軍と戦い、日本軍は大敗した。そこで、唐・新羅による侵攻を恐れた天智天皇は都を難波から内陸の大津に移すとともに、対馬・壱岐・筑紫等に防人と烽（とぶひ）を置き、帰化した百済人の技術を用いて西日本各地に朝鮮式山城を築いた。九州に送られた防人達は、山城ないしその近くに駐屯し、これら軍事施設の構築・運用維持にあたり、沿岸防衛の任にあたったと思われる。

【写真】鞠智城の防人像

朝鮮式山城は西日本各地に分散しているが、防人が駐屯したと思われる九州には次の城がある。

大野(おおの)城：福岡県太宰府市
基肄(きい)城：佐賀県基山町
金田（かねた）城：長崎県対馬市
鞠智(くくち)城：熊本県山鹿市
三野（みの）城：福岡県福岡市？
稲積（すなつみ）城：福岡県志摩町？
怡土(いど)城：福岡県前原市

大野城と基肄城は水城と併せ大宰府を守る城だが、いざというときに町全体を土塁や石塁で囲まれた山城のなかに移してしまうという構想で築かれており、場内に残る礎石のほとんどは食料等備蓄用の倉庫のものである。金田城は日本国の最前線基地として築かれた山城で、明治時代に砲台として使用されたため改変されてはいるが朝鮮式山城として完全な形で遺構を残している。鞠智城は前3城とはやや趣が異なり、有明海沿岸から約 30㎞内陸に入った平坦部の多い丘陵地に土塁で囲む方式で築かれており、大野城や基肄城を背後から守る兵站基地的な役割を果たしたのではないかと想像される。三野城と稲積城は場所が不明で遺構も分からないが2城とも海岸に近く、上陸を阻止する防衛拠点としての役割を持った城だったと思われる。また、怡土城は約 100 年遅れた 768 年に完成した城で、防衛ではなく新羅への侵攻を意図した拠点として築かれた城であったようだ。 場所が特定できていない2城を除き訪城したが、どの城も雄大で見晴らしが良く、当時の土木技術の高さを実感させてくれる。機会があったら大宰府天満宮ばかりでなく、大宰府政庁跡・大野城・水城・基肄城などにも足を延ばすことをお勧めする。また、鞠智城には復元された八角楼、兵舎、高床式倉庫の他に防人のモニュメントがあり、防人関連の展示、ビデオも見ることができる。 （多摩市　金子　功）

2005年・万葉歌学習会VTRより

真情の叫び　万葉集防人の歌

講師　今野耕作先生

西暦 663 年、日本は百済を援護して唐と新羅の連合軍に朝鮮で大敗してしまいます。さあ大変、いつ攻めてくるかわかりません。北九州の海岸線に山城を築き、大宰府を安全な所に移し周囲に濠を掘った水城（みずき）を造り守備兵を置く。

その一環として翌664年、辺境の地を守る兵士という意味で防人（さきもり）制度が作られました。防人は東国 10 カ国の中から選ばれ筑紫・壱岐・対馬へ送られました。原則として男子1名ですが妻以外なら母親の同行も良く、武器・農機具等の荷物を持ち野宿しながら30日ぐらいかけて難波津(大阪港)まで歩いて行き、港からは帆船に乗って博多へ向かいました。防人の歌はそんな旅の中で詠まれた歌です。

万葉集に残っているのは 10 カ国から出された 166 首中の 84 首です。

万葉集は 20 巻 4516 首あり、巻 17・18・19・20 は大伴家持の歌日誌です。父親の旅人(太宰師＝だざいのそつ)と共に大宰府から平城京に戻り、交遊録等を綴ったのが巻17・18・19。巻 20 の 84 首は少納言から兵武省少輔（兵務部長）となって防人を難波から筑紫に送る仕事をしていた時、防人から歌を出させ選んで編集したのです。

当時の万葉集は方言丸出しで読みづらく、ブッキラボーですが、それだけに真心そのものの心情の叫び（これが万葉集の一貫した心ですが）中でも防人の歌はストレートに自分の心を歌っています。

当時の男性は大変忙しく祖・庸・調の送達や国の土木工事にも駆り出され、その中で最も辛い任務が防人でした。

万葉集に防人の歌が載るのは天平勝宝7年（755 年）のこと。755 年の防人は千人程度で提出歌は各国から 20 首、武蔵国では妻の歌が半分も採択されているのが特長です。

万葉集の記録では755年2月、無事に難波津から筑紫へ防人を送り出し、関係者一同で内輪の宴をした記録も残されていますが、4 月～6 月の派遣もあったようです。

[写真]講演中の今野講師

防人動員は国司から郡司に命令が来て、郡司に指名されると、決められた日に国府へ集まるという慌ただしい出発でした。

誤解され易いのは、防人の歌というと戦争時代のイメージが残ること。確かに一部の歌が軍部に利用された時代がありましたが、実際には多くが妻や恋人・家族への愛を歌うものでした。

筑波嶺のさゆるの花の夜（ゆ）床にもかなしけ妹そ昼もかなしけ

（巻 20-4369）

防人の歌を読んでいて私が感心するのは万葉人の心の深さ・熱さ・人間としての叡智です。家持も含め役人が防人一人ひとりの訴えや意見に耳を傾け、私生活のことも考えているのです。

府中の国府を出てから何日も歩く野宿での夕食のあと、互いに妻への想い家族の思いを歌に託して選歌し合評し合ったのでしょう。清書したのは防人部領使（さきもりのことりづかい）で、字を書けない防人の歌を１音１字、地方の方言そのまま清書して家持に届けました。

配備先では兵卒10人に1人の小隊長が、またその上に隊長がいて、その出身国ごとに1軍団編成され、農業で自給自足しながら辺境警備に当っていました。

それでは何故、大伴家持が歌を残したのだろうか…？もともと日本古来の人の心を大切にした政治が存在していた所に中国式の律令制度が導入され、中央には藤原氏を中心に合理的な官僚制度が確立されていった。おおらかな政治風土に、独裁的・権力的な官僚制度が広がっていくーそんな情勢の中で大伴家持の揺れ動く思いもあって、自分の歌も含め万葉集を編纂したのではないか…私はそう思うのです。（今野耕作氏＝埼玉大学特任教授・団顧問）

＊今年も 11 月 5 日（日）に先生の講演があります＝2 面参照

2006.8.29（火）（参加者28名）

八ヶ岳バスハイク

多摩市　白岩信二

【写真】八ヶ岳・金生遺跡

こゝ１～２年は「都民の森（三頭山）」にばかり行っていたので、中央高速道路は「上野原」どまりで須玉ＩＣまで行ったのは久しぶりだった。「八ヶ岳」の雄大な美しさには再感激した。「乙事(おっこと)諏訪社」に行き説明を聞いている時に「乙事」という珍しい地名について“情報誌で読んだことがあるぞ”とひらめいた。調べました。ありました。05.9.30 日発行「ＰＯＡＮ」（歩案）。秋号。諏訪郡富士見町産業課発行。多摩市図書館本館で入手したと思う。特集として「諏訪社」そのものを４頁を使いカラー写真付きで、諏訪大社からの移築、火災からの復興、地域が守る「乙事諏訪社」と取り上げている。桃山の時代様式を残し江戸時代後期に移築され上・下社が合併され現在に至っている内容。

稗之底村の廃村になる迄の経過も知れたし「武田一族」は甲斐の土着民とばかり思っていたが祖は常陸国の地名に由来することも知り参考になりました。

いつも楽しいバスツアーを企画・実行されている宮田団長はじめスタッフの方々ありがとうございました。

秋～冬の歴史ロマン古道予定表（一部計画中を含む）

注）問合せ欄；(団)：歴史古街道団、(里)：鎌倉街道さとびとの会、(隊)：歴史街道探検隊。
探索・学習テーマ欄；歩：ウォーキング、学：学習会、交：交流会、ミニ：史跡探索ミニ・ウォーク

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
10月14日(土)	小田急・京王線／永山駅 小田急改札前　09:30	【歩】よこやまの道ウォーク、その１ 防人が越えた峠と古代東海道	なし	多摩市 教育委	TEL042-375-8111 (内)3216
10月25日(水)	永山公民館創作室 13:00	【２００６さきもりまつり準備会】 大道具・小道具制作等	—	—	(団)宮田 TEL042-389-5534
10月28日(土)	小田急・京王線／多摩ｾﾝﾀｰ駅 小田急改札前　09:30	【歩】よこやまの道ウォーク、その２ 奈良・平安時代の奥州古道と巡礼伝説	なし	多摩市 教育委	TEL042-375-8111 (内)3216
11月５日(日)	関戸公民館第３学習室 13:30	【学】さきもりまつりシリーズ学習会 心情の叫び～万葉防人の歌と筑紫への道	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
11月21日(火)	関戸公民館第１学習室 13:00	【２００６さきもりまつり準備会】 大道具・小道具制作等	—	—	(団)宮田 TEL042-389-5534
11月22日(水)	関戸公民館第２学習室 13:00	【２００６さきもりまつり準備会】 大道具・小道具制作等	—	—	(団)宮田 TEL042-389-5534
11月23日 (祝・木)	府中大国魂神社大鳥居前 08:30 聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前 09:30 永山駅小田急側改札前 10:30	【さきもりまつり２００６】	500円 (中学生以下 100円)	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
11月26日(日)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札前　10:00	【ミニ】多摩市の石仏巡り	団員:500円 一般:700円	当日	(団)奥村 TEL042-725-7120
11月27日(月)	JR横浜線／相原駅 改札前　09:30	【歩】高尾の鎌倉街道山の道と 多摩御陵を歩く	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
12月１日(金)	聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前　07:45 永山駅小田急改札前 08:00	【バスツアー】伊豆湯河原の 歴史ロマン散歩	5,500円	28名 先着順	(団)宮田 Fax042-389-5534
12月３日(日)	ＪＲ拝島駅 南口改札前10:00	【ミニ】拝島宿場巡り	団員:500円 一般:700円	当日	(団)中丸 TEL042-676-3724
12月５日(火)	小田急線／本厚木駅 北口改札前　10:00	【歩】厚木・船子の地頭山古墳と 小金塚古道を歩く	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
12月７日(木)	京王線／高尾駅 改札前　09:30(既報訂正)	【歩】元八王子の鎌倉街道山の道と 梶原八幡・刀鍛冶発祥の地を探る	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
12月19日(火)	関戸公民館第１学習室 14:00開場、14:30～17:00	【学】飛鳥キトラ古墳と 多摩の深い関係の謎	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
	聖蹟桜ヶ丘付近を予定 18:00～20:00	【忘年会】学習会終了後	4,000円程度	12/5 までに	(団)宮田 Fax042-389-5534
１月７日(日)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札前　10:00	【ミニ】勝五郎再生を辿る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)中丸 TEL042-676-3724
１月８日 (祝・月)	ＪＲ南武線／武蔵中原駅 改札前　10:00	【歩】川崎中原区宮内村の春日神社と 藤原氏伝説＆市民ミュージアム見学	隊員:700円 一般:1,000円	当日	(隊)宮田 TEL042-389-5534
１月18日(木)	小田急線／新百合ヶ丘駅 北口側ケンタッキーFC前10:00	【歩】新百合ヶ丘の弘法松鎌倉古道と古代 役所跡の謎を歩く	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
１月28日(日)	小田急線／柿生駅 南口改札前　10:00	【歩】鶴見川沿いの上麻生亀井城と 早野の里の鎌倉古道を歩く	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
１月30日(火)	ＪＲ横須賀線／鎌倉駅 西口時計台広場　10:00	【歩】鎌倉の大蔵幕府と古代役所跡を探る	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
２月５日(月)	相鉄線／鶴ヶ峰駅 改札前　10:00	【歩】瀬谷で発見？の大規模古道跡の謎に 迫る～古代東海道中原道なのか～	隊員:700円 一般:1,000円	当日	(隊)宮田 TEL042-389-5534
２月15日(木)	小田急線／町田駅　10:00 町田バスセンター脇の 西友1F入口前	【歩】町田・七国山と薬師池の鎌倉古道を 探る	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
２月22日(木)	ＪＲ中央線／立川駅 改札口前　09:30	【歩】狭山丘陵横断、 狭山湖に沈んだ百済王の里を探る	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
２月24日(土)	小田急線／海老名駅 改札口前　10:00	【歩】海老名の国分寺と 幻の国府＆渋谷重国伝説を探る	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
３月６日(火)	小田急線／高座渋谷駅 改札前　10:00	【歩】高座渋谷に鎌倉古道と 源義朝＆渋谷一族伝説を探る	隊員:700円 一般:1,000円	当日	(隊)宮田 TEL042-389-5534
３月17日(土)	みなとみらい線／元町・中華街駅 改札口前　10:00	【歩】横浜山手の丘の歴史散歩	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534
３月28日(水)	小田急線／箱根湯本駅 改札前　09:45	【歩】箱根の鎌倉街道、湯坂路を歩く	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
３月31日(土)	湘南モノレール大船駅 改札口前　10:00	【歩】鎌倉梶原谷の鎌倉街道武蔵大路を 探る	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL042-389-5534

☆サポートメイトが 11 月から発進します…現在 13 名の申し出があり、11 月 5 日に発足、11 月 23 日の「さきもりまつり」ではおおきな力になると期待しています！現在も募集中！ご応募・お問い合わせはイベント時にスタッフまで！

編集後記

今年も２ヶ月足らずなりましたが、ウォーキング には最適な季節です。11 月には“さきもりまつり”もあり、準備に大忙しの事務局です。お楽しみに！（今号は紙面の都合上、「道との遭遇」はお休みしました。）

編集責任：歴史古街道団広報部（河村・金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1・2・3-302
宮田太郎（歴史古街道団団長） TEL/FAX 042-389-5534
http://homepage3.nifty.com/kokaido/